

施策分析シート（令和8年度）

No1

施策名	多様な子育て支援の展開	施策No	03-01	部課名	子ども家庭部子育て支援課
関連部課名	子ども・若者課、保育課、子ども家庭総合センター、コミュニティ施設課、荒川遊園課、健康推進課、登校・放課後サポート課				
行政評価事業体系	分野	II	子育て教育都市		
	政策	03	子育てしやすいまちの形成		

目的	全ての子育て家庭が安心して子育てができるような支援体制を構築する。 乳幼児及びその保護者に対する多様な子育て施策を展開するとともに、児童が放課後等に安全・安心に過ごせる環境を整備し、児童の健全育成と全ての子育て家庭の福祉の増進を図る。				
----	--	--	--	--	--

指	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			5年度	6年度	7年度			
	①	望む子育てができている実感度	3.41	3.37	3.27	自分が望む子育てができるような環境があると感じますか？		
	②							
	③							
④								
標	施策の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			5年度	6年度	7年度	8年度見込み		目標値(8年度)
	①	この地域で子育てしたいと思う親の割合（％）	87.0	71.3	69.1	89.0	89.0	乳幼児健診アンケートによる
	②	地域子育て交流サロン延利用者数（人）	67,305	78,016	71,274	100,000	100,000	ゆいの森あらかわを除く全交流サロンの延親子利用者数
	③	あらかわ遊園入園者数（人）	403,956	396,795	373,963	404,731	500,000	年間入園者総数 （30年12月～4年4月20日休園）
	④							
	⑤							

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	行政収入	勘定科目		6年度	7年度	差額
行政費用	給与関係費		499,104	544,216	45,112	行政収入	地方税等		0	0	0
	物件費		2,353,098	2,440,562	87,464		国庫支出金		2,662,401	3,848,599	1,186,198
	維持補修費		43,370	32,487	▲ 10,883		都支出金		916,116	981,061	64,945
	扶助費		4,175,033	5,169,820	994,787		分担金及び負担金		80,476	80,873	397
	補助費等		429,034	405,281	▲ 23,753		使用料及び手数料		456,282	432,943	▲ 23,339
	減価償却費		328,583	328,770	187		その他		38,668	12,265	▲ 26,403
	不納欠損・貸倒引当金繰入額		18	0	▲ 18		行政収入合計(a)		4,153,943	5,355,741	1,201,798
	賞与・退職給与引当金繰入額		56,973	86,942	29,969		行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 3,733,219	▲ 3,863,914	▲ 130,695
	その他行政費用		1,949	211,577	209,628		金融収支差額(d)		▲ 66	▲ 68	▲ 2
	行政費用合計(b)		7,887,162	9,219,655	1,332,493		通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 3,733,285	▲ 3,863,982	▲ 130,697
貸借対照表	勘定科目		6年度	7年度	差額	行政収入	勘定科目		6年度	7年度	差額
流動資産	収入未済		474	500	26	流動負債	還付未済金		31,362	32,596	1,234
	不納欠損引当金		▲ 18	▲ 9	9		特別区債		11,850	11,867	17
	その他の流動資産		0	0	0		賞与引当金		19,512	20,725	1,213
	有形固定資産		8,606,025	8,354,180	▲ 251,845		その他の流動負債		0	0	0
	土地		4,341,004	4,383,614	42,610		固定負債		205,079	230,156	25,077
	建物		6,327,908	6,246,717	▲ 81,191		特別区債		52,920	41,054	▲ 11,866
	建物減価償却累計額		▲ 3,622,558	▲ 3,704,340	▲ 81,782		退職給与引当金		152,159	189,102	36,943
	工作物等		3,616,105	3,616,105	0		その他の固定負債		0	0	0
	工作物等減価償却累計額		▲ 2,056,435	▲ 2,187,917	▲ 131,482		負債の部合計		236,441	262,752	26,311
	無形固定資産		0	0	0		正味財産		8,389,858	8,129,063	▲ 260,795
固定資産	建設仮勘定		15,359	32,362	17,003	正味財産の部合計			8,389,858	8,129,063	▲ 260,795
	その他の固定資産		4,459	4,782	323				8,389,858	8,129,063	▲ 260,795
資産の部合計			8,626,299	8,391,815	▲ 234,484	負債及び正味財産の部合計			8,626,299	8,391,815	▲ 234,484

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用では、児童手当や子ども医療費助成などの扶助費が約55%、学童クラブやにこにこすくーの委託などの物件費が約25%を占めている。
- 扶助費の主な増加要因は、児童手当の受給対象児童数の増加及び制度拡充によるものである。
- 有形固定資産は、保育園やひろば館（児童事業館）、あらかわ遊園などである。
- 行政収入のその他は、一時保育及び緊急一時保育の利用料、児童手当返還金などである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○少子化・核家族化の進展、地域コミュニティが希薄化していること等により、子育てに対する不安や負担感を持つ家庭、地域社会から孤立する家庭が増加している。 ○共働き家庭の増加等、保護者の就労状況についても多様化している。 ○保護者の多様なニーズに応えるため、子育て交流サロンや一時保育、病児・病後児保育などを実施している。 ○令和元年度から健康部と連携した子育て世代包括支援センター事業を開始。令和6年度より全ての妊産婦、子育て世帯、子どもに対し、一体的に相談支援を行う機関としてこども家庭センターを設置し、妊娠期から出産、子育て期までの切れ目ない支援を行っている。 ○あらかわ遊園では、魅力あるアトラクションや夜間開園、パレードの定期実施や地元商店街や地域団体とも連携した大規模イベントの開催、多様な動物の展示、安全衛生維持の徹底など、子育て家庭を中心としながら幅広い世代が楽しめる遊園地づくりに取り組んでいる。
課題	○身近に相談できる人がいない在宅育児家庭や共働き家庭が安心して子育てができるよう、区民ニーズを的確に把握しつつ、地域の関係機関と連携・協力を図るなど、子育て家庭を支えていく体制を強化する必要がある。 ○全ての児童が、保護者の就労の有無にかかわらず、放課後に安全で安心して過ごすことのできる場が必要である。 ○在宅育児家庭を含めた全ての子育て家庭が、必要なサービスを選択し利用できる環境づくりが必要である。 ○あらかわ遊園では、入園者数が減少傾向にあり、それに伴う歳入の減少の一方、安全を基本とした管理運営を確保するための経費を要することから、収支バランスの確保が課題となっている。
今後の方向性	○妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を提供するために、こども家庭センターによる支援の整備など、さらなる支援体制の充実を図っていく。 ○子育て交流サロンの拡充により、身近に相談ができる交流の場を提供するほか、在宅育児家庭が安心して子育てができるよう、一時保育事業やファミリーサポートセンター事業に加え、在宅での子育てサポート施策を充実し、社会全体で子育て家庭が住みなれた地域で安心して子育てできる環境づくりを行う。 ○学童クラブ及びにこにこすくーるにおけるサービスの拡充により、「小1の壁」の解消と、次代を担う人材の育成を図るとともに、児童が放課後に安全で安心して過ごす居場所を確保していく。 ○子育て家庭に対する切れ目ない支援を提供するとともに、様々な世帯のニーズに的確に対応した支援を行っていく。 ○収支改善に向け、SNS等を有効活用して積極的な周知を行いつつ、キッチンカーの誘致等も含め魅力的なイベント開催等により来園者増を図るとともに、業務委託内容の徹底的な確認や物品調達の効率化など、あらゆる経費について不断の点検を進めていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
8年度	9年度	
重点的に推進	重点的に推進	子どもや保護者が安心して暮らせるまちとするために、様々な子育て支援サービスを展開していく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
親子ふれあいひろば（ふれあい館）	04-03-07	4,586	4,887	2,380	2,416	推進	推進	子育て中の親子が交流し、育児相談ができる場の提供は、孤立化の防止に資する事業であるため、推進する。
子ども読書活動推進事業（ふれあい館）	04-03-08	4,681	4,895	2,475	2,424	推進	推進	子どもの健全育成を図る上で、また図書を通じた子育て支援策を展開していくため、今後も事業を推進していく。
出産・子育て応援事業	09-02-36	416,240	315,860	408,575	307,260	重点的に推進	重点的に推進	妊娠期から子育て期にわたる総合的な支援の起点となる事業であり、子育て世代に対する支援に加えて、児童虐待の未然防止策としても、優先度が非常に高い事業である。
子ども・子育て会議事務費	10-01-01	31,140	3,676	14,568	638	推進	推進	法定事務であり、子ども・子育て支援計画の改定などを審議する事務であるため、推進する。
児童福祉施設等指導検査	10-01-06	61,139	75,588	2,145	2,066	推進	推進	当該事務は、利用者支援の観点から、保育施設等における適正な運営及び保育の質の確保等を図る目的の事業であり、引き続き推進する。
管理運営費（子育て支援課分室・宮地ひろば館複合施設）	10-01-07	20,364	14,059	11,841	4,944	継続	継続	区民が利用する地域交流の拠点として、適切な施設の維持管理・運営を行う事業であるため、継続して実施する。
子育て支援情報提供事業	10-01-08	2,991	3,110	1,381	1,389	重点的に推進	重点的に推進	区民が、子育てに関する有益な情報を容易に入手できるようにするため重点的に推進する。
産後支援ボランティア助成事業費	10-01-09	3,704	4,512	3,230	3,905	継続	継続	新生児の養育が困難なご家庭を対象とした子育て支援策として、虐待の未然防止を図るため、今後も事業を継続していく。
ツインズサポート事業	10-01-10	4,960	6,878	4,013	5,460	継続	継続	多胎児を養育する家庭の負担を軽減する事業であるため、継続して実施する。
地域子育て支援事業	10-01-13	8,054	8,289	6,349	6,771	継続	継続	地域の社会資源を活用した子育て支援策として、継続的に実施していく。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
あらかわベ이스テーション （赤ちゃんの駅）設置事業	10-01-14	687	541	24	34	継続	継続	乳幼児をもつ親が安心して外出できる環境を創出する事業であるため、継続して実施する。
地域子育て交流サロン事業 （子ども・若者課）	10-01-17	151,970	160,641	130,643	146,684	重点的に推進	重点的に推進	子育ての楽しさを共有すると共に、在宅育児家庭の育児不安や孤立化等の解消を図るため、重点的に推進する。
子育てボランティア団体育成 支援事業	10-01-18	534	554	250	250	継続	継続	子育てに関するボランティア団体の支援は必要な事業であることから、継続的に実施していく。
多様な事業者の参入促進・能力 活用事業	10-01-34	2,226	2,335	1,752	1,120	継続	継続	教育振興及び保護者の負担軽減として必要であり、継続して実施する。
外国人学校保護者補助	10-01-35	10,967	11,108	10,493	9,184	継続	継続	保護者の負担軽減として必要であり、継続して実施する。
こども家庭センター	10-01-36	5,163	5,669	3,260	3,741	重点的に推進	重点的に推進	妊産婦又は児童を養育する保護者等に対し、切れ目のない支援を行うことは必要であり重点的に推進する。
ファミリー・サポート・セン ター事業	10-01-37	16,973	18,088	16,026	17,076	継続	継続	地域における育児の相互援助活動を推進する事業であるため、継続して実施する。
児童手当給付事業	10-01-49	3,015,482	4,026,674	3,005,539	4,017,054	継続	継続	国の基準に基づいた事業であるため、継続して実施する。
子ども医療費助成事業	10-01-52	1,234,654	1,199,335	1,225,184	1,190,220	継続	継続	区の独自基準（所得制限なし）及び都の基準に基づいた事業であるため、継続して実施する。
親子ふれあい入浴事業	10-01-54	0	0	—	—	継続	継続	地域の社会資源を活用した子育て支援策として、継続的に実施していく。

施策を構成する事務事業の分類

事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
ひろば館の運営	10-02-01	181,110	176,840	109,585	102,334	継続	継続	児童の健全な育成を図るため、継続して実施する。
学童クラブ・にこにこすくーる(委託分・放課後子ども総合プラン含)	10-02-14	1,588,230	1,768,666	1,395,342	1,610,675	重点的に推進	重点的に推進	一体型の放課後子ども総合プランの全校実施に努めるとともに、更なる事業内容の充実を図るため、重点的に推進する。
若者支援体制の整備	10-02-21	39,989	39,552	30,499	32,107	重点的に推進	重点的に推進	面接相談等、若者が直接相談員へ気軽に相談できる環境整備を引き続き行い、幅広い分野の相談を受け付け、切れ目ない支援に向けて重点的に推進する。
学童クラブ（直営分）の運営	10-02-31	0	77,202	—	—	重点的に推進	重点的に推進	更なる事業内容の充実を図るため、重点的に推進する。
病児・病後児保育事業費	10-03-03	22,755	23,238	22,391	22,345	重点的に推進	重点的に推進	保護者の子育てと就労の両立をさらに支援するため、重点的に推進する。
地域活動事業費(区立保育園)	10-03-06	2,227	2,785	1,498	1,446	推進	推進	在宅育児支援策として必要な事業であるため、推進する。
緊急一時保育事業費	10-03-13	1,648	2,137	919	1,244	継続	継続	家族などによる支援が受けられない在宅子育て世帯に対し、支援を継続する必要がある。
一時保育事業	10-03-14	68,392	69,049	67,954	68,104	重点的に推進	重点的に推進	在宅育児家庭における子育ての負担軽減のため重点的に推進する。
地域子育て交流サロン事業(保育課)	10-03-16	21,000	25,172	20,255	24,745	重点的に推進	重点的に推進	子育ての楽しさを共有するとともに、在宅育児家庭の育児不安や孤立化等の解消を図るため、また養育困難などで相談に訪れる保護者の相談先となるため、重点的に推進する。
乳児等通園支援事業	10-03-24	0	0	—	—	推進	推進	令和8年度から法定事業としての実施が定められており、区内の需要を満たす供給量を確保する必要がある。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
荒川遊園管理運営費	10-04-01	925,565	1,127,904	652,223	841,360	重点的 に推進	重点的 に推進	荒川区の子育て支援の拠点施設であるとともに、区の重要な観光資源の一つであり、荒川遊園の管理運営は重要である。
ショートステイ事業	10-06-05	39,565	40,413	30,922	30,801	重点的 に推進	重点的 に推進	児童福祉法において市町村が実施する事業として規定されており、家庭で一時的に養育困難となった児童の養育環境の確保のため、重点的に推進していく。
合 計		7,886,996	9,219,657	7,181,716	8,457,797			